

大会テーマ

大学評価のリアリティ ——グローバル化とローカル化のはざままで——

文部科学省によって認証された評価機関による大学評価、いわゆる認証評価は、2018年度から新しい評価基準のもと3巡目が始まろうとしています。本学会は、認証評価が義務付けられる直前の2004年3月に設立され、「大学評価学会設立趣意書」に記されているように「大学および大学人が、自らの主体性を確立し、学問の自由と大学の自治の現実的・具体的担い手となる」という理念に基づいて活動を続けてきました。

このたび第15回全国大会は、九州・大分の別府大学で開催され、シンポジウムのテーマは「大学評価のリアリティ——グローバル化とローカル化のはざままで——」です。大分県は人口当たりの留学生数が全国1位であり、別府市は全国で先駆けて「国際観光温泉文化都市」に制定されている「グローバル化」先進地です。一方で、少子高齢化が急速に進んでいる地方において「ローカル化」に向き合う地域でもあります。

共催の別府大学国際経営学部は来年度10周年を迎えるため、記念行事の一環としても位置づけさせて頂いております。世界でも有数の温泉地である別府にて、大学と大学評価に向き合えるこの機会に、会員、非会員を問わず、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日時:2018年3月3日(土)～3月4日(日)

場所:別府大学

住所:〒874-8501 大分県別府市北石垣82

アクセス:JR日豊本線「別府大学駅」より徒歩10分

大分空港からは、バスで40分、別府国際観光港前下車。亀の井バスに乗り換え、<別府大学経由鉄輪行>に乗り、「別府大学前」下車。 <http://www.beppu-u.ac.jp/access/>

参加費:会員1500円/会員外3000円(申込不要)/院生・学生等1000円

懇親会費:4000円(院生・学生等2000円/「院生・学生等」扱いは会員・非会員を問わない)

大会連絡先:大会実行委員会 委員長・中道真(別府大学)

別府大学国際経営学部 中道真研究室

E-mail: mnakamit@nm.beppu-u.ac.jp / TEL: 0977-67-0101(代表)、0977-86-6731(ダルクイン)

3月3日(土) ※9:00～受付(39号館3階エレベーターホール)

9:30～12:00 第1分科会(自由研究発表) 発表各30分+総合討論30分

[A会場:39号館3階3931教室]「テーマ:評価・ガバナンス研究」

司会:岡山茂(早稲田大学)、藤原隆信(筑紫女学園大学)

- 1) 重本直利(龍谷大学)「大学ガバナンス・マネジメントをめぐる新たな論点」
- 2) 池ヶ谷浩二郎(創価大学総合学習支援オフィス)「教職協働の観点からの初年次へのアプローチ(仮)」
- 3) 中田晃(放送大学大学院)「認証評価制度」が多様性を欠くメカニズムの検討」
- 4) 盛本功爾郎(別府大学事務局)「認証評価のあり方に関する一考察」

[B会場:39号館3階3932教室]「テーマ:歴史研究」

司会:水谷勇(神戸学院大学)、深野政之(大阪府立大学)

- 1) 日永龍彦(山梨大学)「米軍統治下における琉球大学の管理運営制度」
- 2) 石渡尊子(桜美林大学)「戦後教育改革構想における大学の地域貢献—普及事業に焦点をあてて—」
- 3) 村上孝弘(龍谷大学図書館)「大学図書館視察委員制度の全容の実証的分析」
- 4) 金丸彰寿(神戸大学大学院)「青年の発達要求に基づく「共同教育」の創造と展開—1972～81年における京都府立与謝の海養護学校高等部と京都府立加悦谷高等学校の実践に着目して—」

[C会場:39号館3階3933教室]「テーマ:地域・国際研究」

司会:西垣順子(大阪市立大学)、渡部(君和田)容子(近畿大学)

- 1) 渡部昭男(神戸大学)、細川孝(龍谷大学)、光本滋(北海道大学)、伊東直登(松本大学)
「高等教育に関する都道府県施策:長野県の場合—信州高等教育支援センター開設を中心とした動向—」
- 2) 細川孝(龍谷大学)「私立大学の「公立大学」化と「漸進的無償化」—設置者変更に関する言及しつつ—」
- 3) 浅野かおる(福島大学)「韓国の大学改革・大学評価をめぐる動向(仮)」
- 4) 宋善英(韓国大学教育協議会)
「学習成果を高める大学評価指標や変化トレンドに関する一考察—韓国の事例を中心に—」

12:00～13:00 昼食休憩(第VI期 第12回理事会)

(※会員控室:39号館1階ラーニングコモンズ[学習室側]、理事会:3946演習室)

13:00～13:50 第15回会員総会(37号館4階メディアホール)

14:00～17:30 シンポジウム(37号館4階メディアホール)

「大学評価のリアリティ—グローバル化とローカル化のはざままで—」

本シンポジウムは、グローバル化の進展の中で、ローカル(地域)に根ざした大学評価および改善の取り組みを主題といたします。グローバル展開の中、大学および大学評価はあらためて地域および住民・市民と共に生きる大学および大学評価のあり方を考えることが問われています。「まちづくり」、地域自治、市民参加、そして「地方分権」における教育行政のあり方などの諸側面を、国際的な視野も含めながら考察したいと思います。このことから「グローバル化とローカル化のはざま」にある「大学評価のリアリティ」を深めていきます。

1) 「社会変化と大学教育の矛盾」

篠藤明德(別府大学)

2) 「地方分権的教育行政の視点から」

中嶋哲彦(名古屋大学)

3) 「地方小規模大学の具体的取り組みの視点から」

米津直希(稚内北星学園大学)

<司会・コメント> 日永龍彦(山梨大学)、重本直利(龍谷大学)

18:00～19:45 懇親会(大学付属「大分香りの博物館」1階「カフェ サ・サンボン」)

9:30～12:00 分科会（午前部）

3月4日（日）

第2分科会(39号館3階3931教室) 座長：菊池芳明(横浜市立大学)**「教職協働」****テーマ:教職協働の変貌と課題**

<趣旨>1990年代からの大学職員アドミニストレータ論は、従来からある役割分担論における職員の役割の範囲を管理運営から経営に広げようということと、文科省の理事長・学長の権限強化とあいまって、結果として経営教学二分論としての教職役割分担的協働論に陥っているとの見方もされています。歴史的に各大学では従来から多様な教職協働が行われていたと考えられますが、それらの外圧で「教職協働」が変貌を遂げているのも事実です。

そこで、以下3人の報告者により①関西のある私立大学の人事制度改革をもとにしながら検討し、私立大学の危機を克服するための教職協働の基本的なフレームを再検討する報告、そして、②九州の私立大学における人材育成を中心にして職員の役割から見た教職協働の事例報告、そして、③大学職員アドミストレーター論をリードしてきた大学行政学会の教職協働論の位置づけの分析などを、問題提起していただきながら、議論を深めます。

- 1) 津田道明(日本福祉大学:組合専従)「“教職協働”の陥穽」
- 2) 矢崎美香(九州女子大学)「大学における教職協働とは～人材育成のために教職員は何をすべきか」
- 3) 菊池芳明(横浜市立大学)「大学行政管理学会における大学職員論と教職協働」

第3分科会(39号館3階3932教室) 座長：西垣順子(大阪市立大学)**「発達保障」****テーマ:成人へのトランジション保障と高等教育段階での職業教育**

<趣旨>大学教育・高等教育における職業教育の位置づけをどう考えるかということは、古くから「難しい問題」を孕む議論として存在している。今日の日本では、高校卒業者の高等教育進学率が上昇すると同時に、高止まりの傾向もあり、各教育機関が学生獲得にしのぎを削らざるを得ない状況となっている。そのような中、受験生やその家族のみならず、大学関係者や政治や行政も、「就職に強い」とか「資格が取れる」といったキャッチフレーズに「期待」を高めることが少なくない。平成31年度からは、「専門職大学」の創設も予定されている。他方で、「職業教育」のカリキュラムや学生発達の実態については、十分な共通認識が持たれていないのではないかと思われる。本分科会では、専門職大学の創設をめぐる教育行政・政策の動きの分析と、専門学校における学生の学びと発達についての研究の報告をもとに、大学教育・高等教育と職業教育のあり方について議論をし、青年の発達保障を基盤とする大学評価について考えたい。

- 1) 川口洋誉(愛知工業大学)「専門職大学の課題と可能性」
- 2) 植上一希(福岡大学)「専門学校における職業教育の特質と学生の成長」

<指定討論者> 白波瀬正人(学校法人野田鎌田学園 あずさ第一高等学校)

※ 本分科会開催にあたり、科学研究費補助金基盤研究(C)17K04361「青年の発達推進力となる大学学習要求の充実過程とその支援実践研究および評価法開発」(研究代表者:西垣順子)による支援を受けました。

12:00～13:00 昼食休憩（第VII期 第1回理事会）

（※会員控室：39号館1階ラーニングコモンズ[学習室側]、理事会：3946 演習室）

3月4日(日)

13:00～15:00 特別セッション

13:00～15:00 特別セッション (37号館4階メディアホール)

「別府と別府大学における学び」

本大会は「大学評価のリアリティーグローバル化とローカル化のはざままで」をテーマに開催されます。プログラム冒頭の挨拶に記されたように、大分県や別府はグローバル化とローカル化の「はざま」にある地域の一つと言えるでしょう。そのような地域にあって創造的かつ魅力的な学習の営みが実践されています。本セッションでは、開催校である別府大学での実践とあわせ地域(別府)の寺院が進めている学びの空間づくりについて話題提供いただきます。地域社会にとって大学、そして学習のもつ意義をご一緒に考えていきたいと思っております。

「学生とともに取り組むローカル地域再生」

中道真(別府大学)、中川隆(中村学園大学)、別府大学教職員・学生
「寺院を核にした学びの空間づくり」 高橋篤法(浄土真宗本願寺派西光寺)

<指定討論者> 平知宏(大阪市立大学)

<司 会> 細川孝(龍谷大学)

<ポスターセッション>

日時：2018年3月3日(土)～3月4日(日) ※常時掲示

場所：会員控室(39号館1階ラーニング commons [学習室側])

- 1) 山口真紀(兵庫県立大学)「男女共同参画社会における大学の役割(仮)」
- 2) 渡部(君和田)容子(近畿大学)、國本真吾(鳥取短期大学)
「鳥取県における保育教育費負担の現状と支援策」
- 3) 谷川弘治(西南女学院大学)
「多職種で学び合う地域ネットワークづくりからみた大学の役割
—病気の子どものトータルケアセミナーin福岡の取り組みから—」
- 4) 藤原隆信(筑紫女学園大学)「ソーシャルビジネスの実践教育」
- 5) 西出良一(金沢大学事務局)「国立大学の教員養成学部の方向性(仮)」

<大学評価学会共同事務局>

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部 渡部昭男研究室

E-mail : akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp / TEL & FAX:078(803)7726

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学経営学部 細川孝研究室

(会費・発送・HP管理) E-mail : hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp / TEL & FAX:075(645)8634